



AQU先端テクノロジー総研 《ニュースリリース》 2017/8/30

**AIスピーカー、日本市場は5年後、年間300万台へ！
ヒアラブル端末、スマートイヤホン、急成長へ！ 補聴器潜在需要にも好影響！
AIスピーカー、ヒアラブル端末の調査報告書完成！AQU先端テクノロジー総研**

<http://www.aqu.com/ai-speaker-hearable/>

AIスピーカー、ヒアラブル端末

<http://www.aqu.com/aqu-news/2017-8-30.pdf>

ニュースリリース

<http://www.aqu.com/ai-speaker-hearable/sample-1.pdf>

内容サンプル

<http://www.aqu.com/>

AQU メインページ

- AIスピーカー、日本市場は5年後、年間300万台へ！
- ヒアラブル端末、スマートイヤホン、急成長へ！ 補聴器潜在需要にも好影響！
- AIスピーカー、ヒアラブル端末の調査報告書完成！AQU先端テクノロジー総研
- このたび、先端テクノロジーの調査会社の AQU 先端テクノロジー総研(AQUARIUS 最先端研究所、代表、子安克昌)は、『AIスピーカー及び、ヒアラブル端末の市場動向、市場予測に関する調査』調査報告書を発刊いたしました。

- Ø AIスピーカー(スマートスピーカー)、及びヒアラブル端末(ヒアラブルデバイス)は、まだスタートしたばかりで黎明期にすぎないものの、IoT、AIビジネス領域において、今後の世界市場、日本市場で、大いに飛躍の可能性を秘めた市場として注目される。
- Ø アマゾンのAIスピーカー「Amazon Echo」は、米国を中心に累計、1,500万台を超えるいっぽう、音声アシスタント「Amazon Alexa」の機能を拡張する「Alexa スキル」の種類は、1万種類を超えており、ハードの市場であるとともに、スキル(アプリ)市場としても注目される。Google、Microsoft、Appleなど大手企業の参入により、世界的にも、急速な普及が見込まれている。アクティブな米国では、すでに家庭の7%に音声アシスタントが組み込まれたAIスピーカーが存在。また、米国世帯の75%が 2020 年までにスマートスピーカーを所有する、また、世界中の家庭の約3.3%が 2020 年までに AI スピーカーを使用する、との見方もある。
- Ø 日本国内では、ライン、NTTドコモなどが参入しはじめているが、Google、Apple などグローバル企業の動向によっては、スマートスピーカーとともに、スマート TV、ホームロボット、コネクテッドカー(車載端末)などにも、急速に音声AIアシスタント

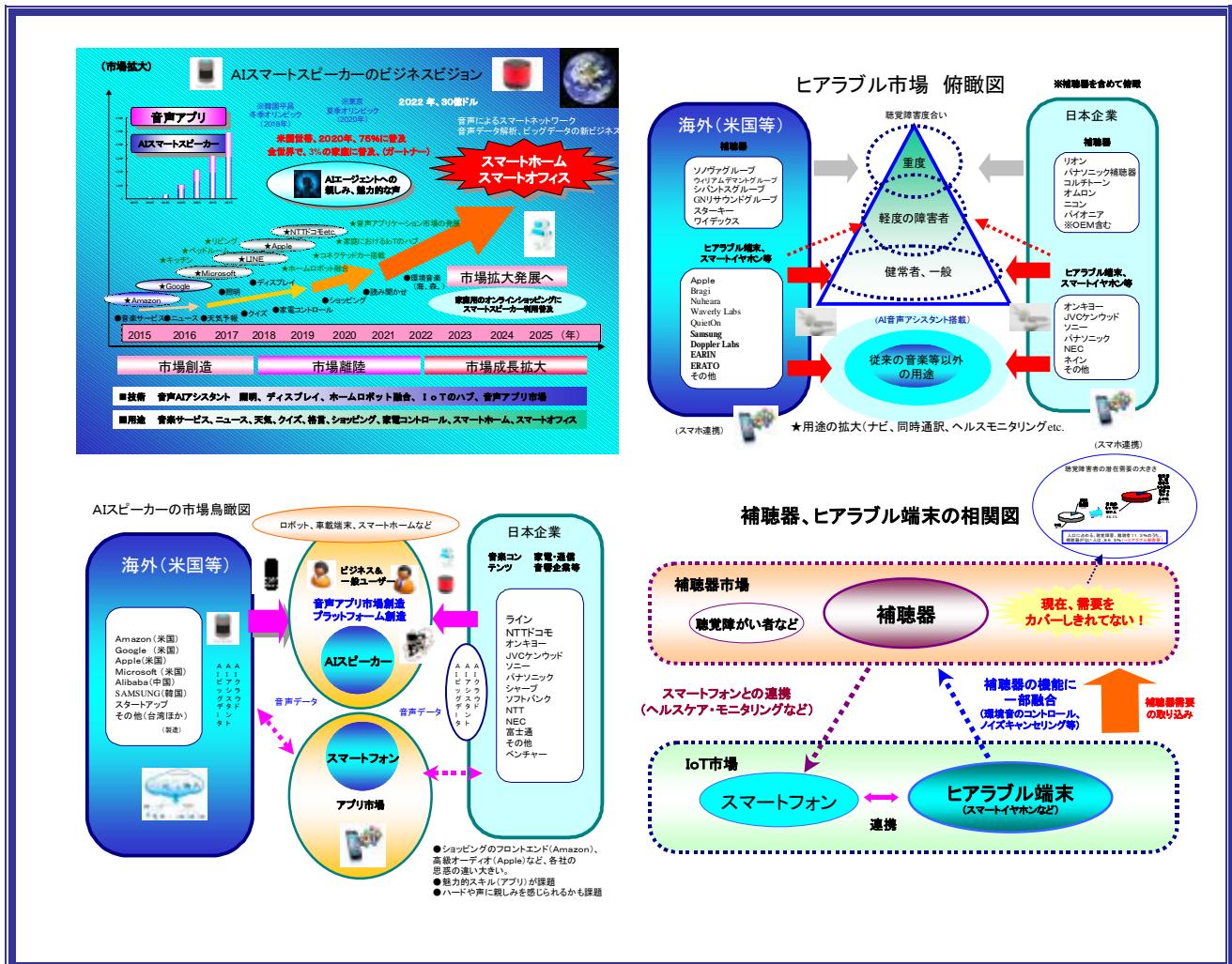
が広がってゆく可能性がある。

- Ø 当調査(2,200人調査)でも、AIスピーカーとヒアラブル端末についての欲求度をとらえたところ、「AIスピーカー欲しい」27.4%、「ヒアラブル端末欲しい」26.2%となり、4人に1人強の人が、欲しいという、強い需要が伺えている。
- Ø ヒアラブルの可能性については、ハンズフリーで音楽が聴けたり、電話ができる、といった用途以外にナビゲーション、ノイズキャンセリング、音声フォーカス、同時通訳など、幅広い用途が広がっている。とくに、社会的課題を考えた場合、聴覚に障害を持つ人(補聴器のサポートが必要な人)は、全人口の11.3%である。このうち補聴器のサポートを受けている人は、13.5%に過ぎず、残りの86.5%は、補聴器のサポートを受けていない。社会の高齢化とともに、難聴などに悩む人が多くなっており、補聴器のサポートを潜在的に有している人が多く、ヒアラブル端末(スマートイヤホン)は、こうした人々にも応えられる可能性が大である。また補聴器ユーザーにおいてもスマホとの連携を求めていることが多く、ヒアラブル端末(スマートイヤホン)の社会的使命(需要)は大きい。
- Ø AIスピーカーは、2017年頃までアマゾンをリード役に、前年比3倍以上の拡大をしてきているが、2019年以降は、30%内外の成長が続くものと考えられ、5年後の2022年には、世界市場は1億5千万台を突破。日本市場も高成長が続き、同年、300万台を突破すると予測している。
- Ø ヒアラブルは広義として、補聴器、従来イヤホンを含むヘッドホン、そして、スマートイヤホン、その他産業用などに分類できる。市場規模としては、ヒアラブル全体で世界市場、2017年、180億ドル規模(見通し)となっているが、5年後の2022年には、450億ドル規模に達すると予測している。特徴的なのは、スマートイヤホンの急成長で補聴器、ヘッドホン(従来イヤホンを含む)の潜在需要に大きな影響を与えていく点である。
- Ø 当調査報告書は内外の市場動向、実際の需要動向調査をふまえ、AIスピーカー(スマートスピーカー)、及びヒアラブル端末(ヒアラブルデバイス、スマートイヤホン)の市場分析、市場予測を行ったものである。当調査報告書が皆様のビジネス開発、研究開発、製品サービス開発に少しでも寄与できれば幸いである。

● 調査テーマ



【調査ポイントの一例】



※調査の一部

- 調査スケジュール
- 当該連調査報告書

2017年6月1日～2017年8月25日

『AIスピーカー及び、ヒアラブル端末の市場動向、市場予測に関する調査』
—スマートスピーカー、スマートイヤホンの需要拡大をとらえる—

<http://www.aqu.com/ai-speaker-hearable/>

ISBN 978-4-904660-34-8

※お問い合わせ連絡先

株式会社 AQU 先端テクノロジー総研

<http://www.aqu.com/>

〒260-0027 千葉市中央区新田町 36-15

千葉テックビル 6FTEL 043-204-1258

FAX 043-204-1316

子安、那須

info@aqu.com
